

# 令和7年度海岸漂着ごみ組成調査業務報告書

稲童地区海岸（行橋市）

令和8年2月

福岡県保健環境研究所

## 1 調査の目的

福岡県の海岸漂着ごみの実態把握及び発生抑制対策に資する情報収集を行うため、海岸漂着ごみ組成調査を実施した。

## 2 調査方法

### 2.1 地点

調査地点である稲童地区海岸の位置を図 1-1 及び図 1-2 に、調査範囲を図 1-3 に、詳細を表 1 にそれぞれ示す。調査地点は豊前海に面する砂と礫が混在する海岸である。令和 7 年度に本海岸で清掃活動が実施されたという情報は確認できなかった。

稲童地区海岸に近い気象台である行橋観測所（図 1-1）における令和 6 年、7 年の平均風速及び最多風向を表 2 に示す。平均風速は各月 1.7~2.7 m/s である。また、各月の最多風向のみでは、年間を通じた風向の傾向を十分に評価することができないため、より詳細な情報として 2 年分の 1 時間毎の風速及び風向データから風配図を作成した(添付 1)。

日本周辺の主要な海流を図 2 に示す。豊前海は福岡県、大分県及び山口県に囲まれた半閉鎖的の海域であり、海流による影響が小さい海域である。

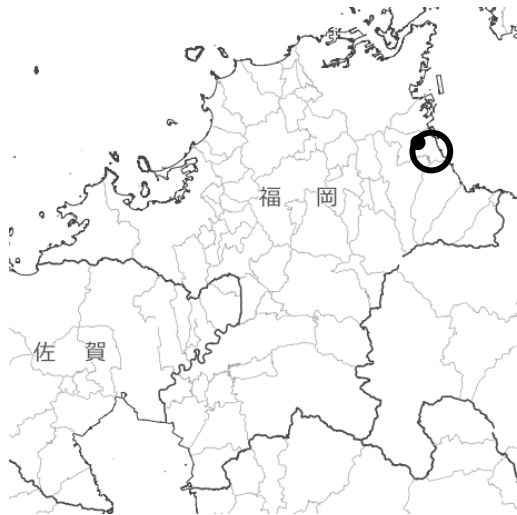


図 1-1 稲童地区海岸 (○) と観測所 (●) の位置

出典：国土地理院 白地図

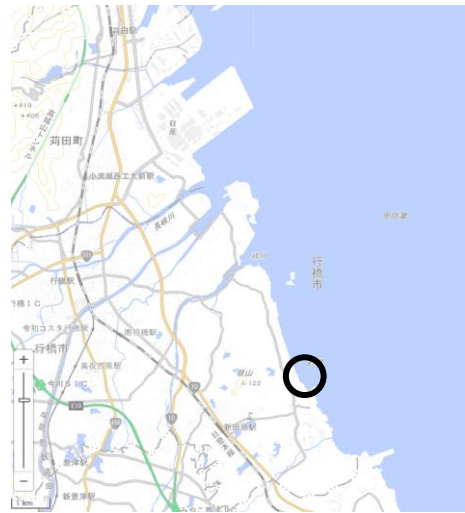


図 1-2 稲童地区海岸の位置  
出典：国土地理院 淡色地図



図 1-3 調査範囲

表 1 稲童地区海岸の詳細

所在地	行橋市稲童
中心地点の緯度経度	33.70647° N 131.02986° E
1km 以内の一級及び二級河川河口	なし。
調査範囲奥行き (平均)	5m
直近の清掃活動	確認できず。

表2 行橋観測所における気象データ（令和6、7年）

宗像 月	令和6年		令和7年	
	平均風速 m/s	最多風向 -	平均風速 m/s	最多風向 -
1	2.0	西南西	2.2	西南西
2	1.8	北北東	2.6	西南西
3	2.4	西南西	2.7	西南西
4	1.7	東北東	2.2	西南西
5	2.1	西南西	2.2	西南西
6	2.1	東北東	1.9	西南西
7	2.5	西南西	2.6	東
8	2.3	西南西	1.8	西南西
9	2.1	東	1.9	西南西
10	1.9	東	1.8	西南西
11	2.0	西南西	1.8	西南西
12	2.3	西南西	1.9	西南西

気象庁データから作成 <https://www.data.jma.go.jp/risk/obsdl/>



図2 日本周辺の海流

出典：海上保安庁海洋情報部

<https://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN8/sv/teach/kaisyo/stream4.html>

## 2.2 期間

回収作業は令和 7 年 11 月 17 日、集計作業は令和 7 年 12 月 23 日に実施した。

## 2.3 回収及び集計作業

作業は地方公共団体向け漂着ごみ組成調査ガイドライン（令和 7 年 5 月第 4 版）に従い実施した。

## 3 調査結果

集計結果を表 3 及び図 3 に示す。また、詳細なデータシートを添付 2 に、言語表記等調査シートを添付 3 に、回収前後の写真等を添付 4 に、回収したものの写真を添付 5 にそれぞれ示す。なお、シートや袋の破片、硬質プラスチック破片、発泡スチロールの破片、ガラス・陶器の破片、灌木は個数を計数していないため個数には計上していない。回収物全体の容量は 1597 L、重量は 280 kg であった。容量及び重量ともに最も大きな割合を占めたのは自然物であった。

同地点における令和 5 年及び令和 7 年の調査結果の比較を表 3 及び図 4 に示す。全体の個数は令和 5 年及び令和 7 年の各年において同程度であった。また、全体の容量及び重量は、令和 7 年は令和 5 年より減少していた。

回収物を人工物(漁具)、人工物(漁具以外)及び自然物に分けた集計結果を表 4 及び図 5 に示す。個数については人工物(漁具以外)、容量及び重量は自然物が最も大きな割合を占めていた。

ペットボトル等の製造国別集計結果を表 5 に示す。ペットボトルは、製造国不明 3 個であった。ペットボトルのキャップは、日本が 5 個、製造国不明 4 個であった。漁業用の浮子は、中国・台湾が 1 個であった。

表3 集計結果（稲童地区海岸）

大分類	個数（個）		容量（L）		重量（kg）	
	R5 (2023)	R7 (2025)	R5 (2023)	R7 (2025)	R5 (2023)	R7 (2025)
1 プラスチック	273	300	15.3	10.4	2.75	1.09
2 発泡スチロール	243	281	11.7	15	0.2	0.38
3 ゴム	0	0	0	0	0	0
4 ガラス、陶器	2	1	0.1	1.5	0.278	0.908
5 金属	9	5	4.4	2.06	0.20	0.11
6 紙、ダンボール	1	0	0.3	0.06	0.01	0.01
7 天然繊維、革	0	0	0	0	0	0
8 木（木材等）	34	6	634	209	194	105
9 電化製品、電子機器	0	0	0	0	0	0
10 自然物	80	38	3590	1357	860	171
11 その他	1	1	0.005	2	0.0015	1.66
合計	643	632	4260	1597	1060	280

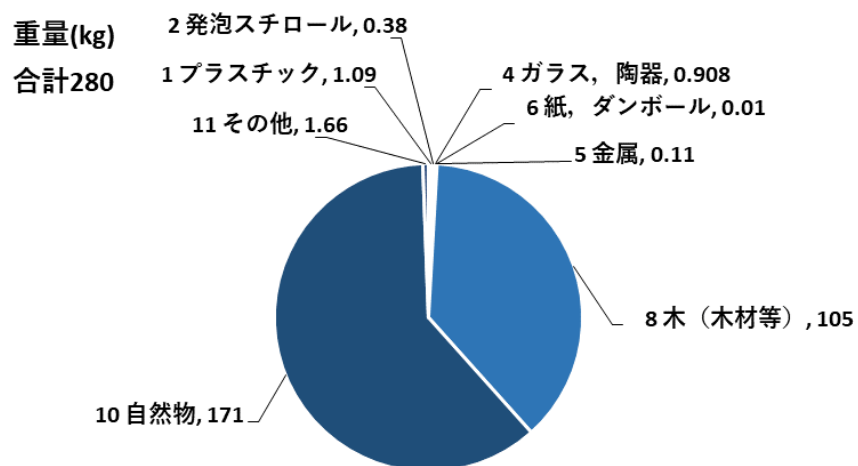
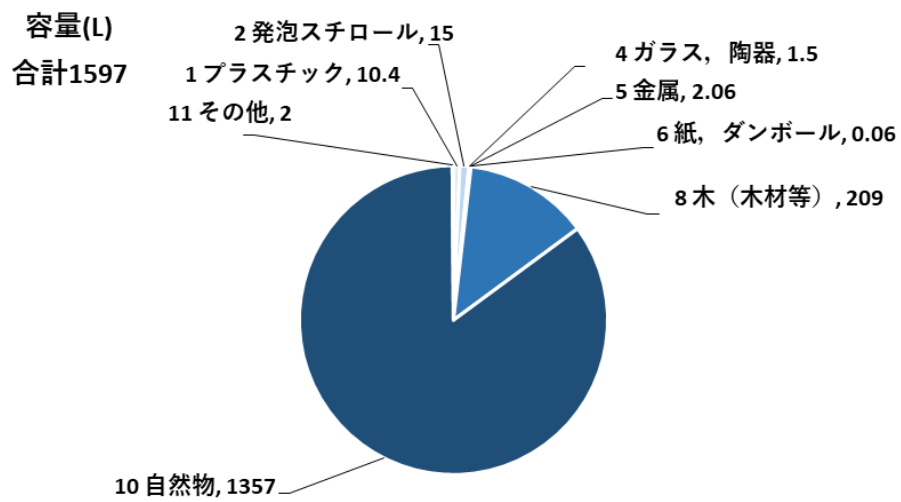
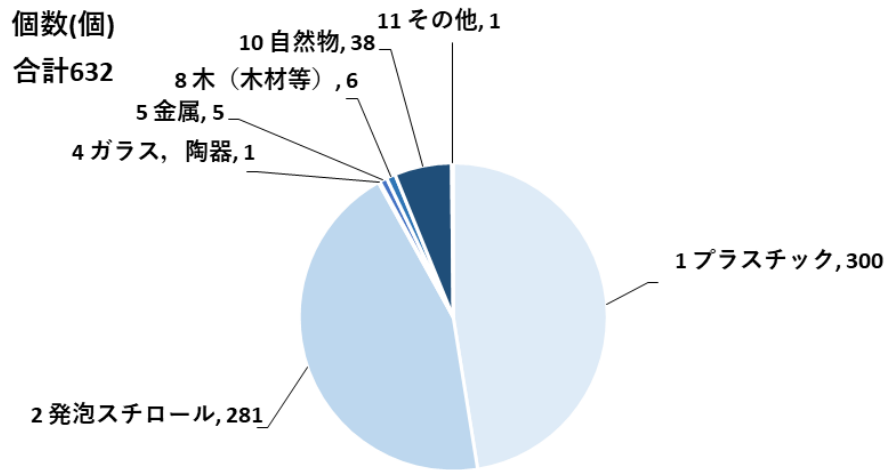


図3 集計結果 (稲童地区海岸)

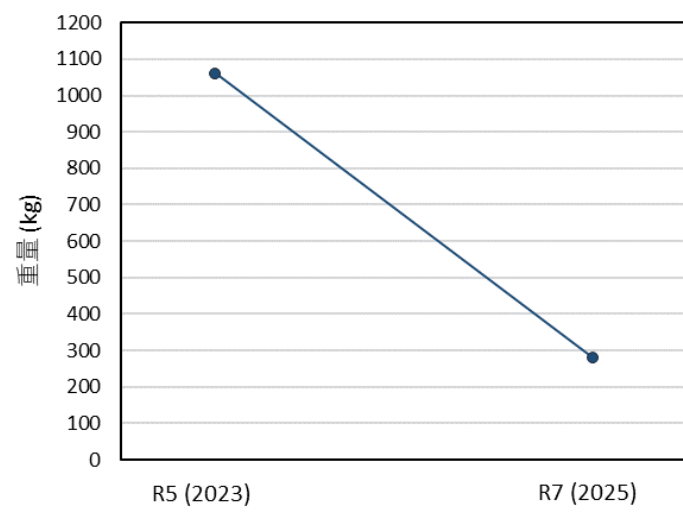
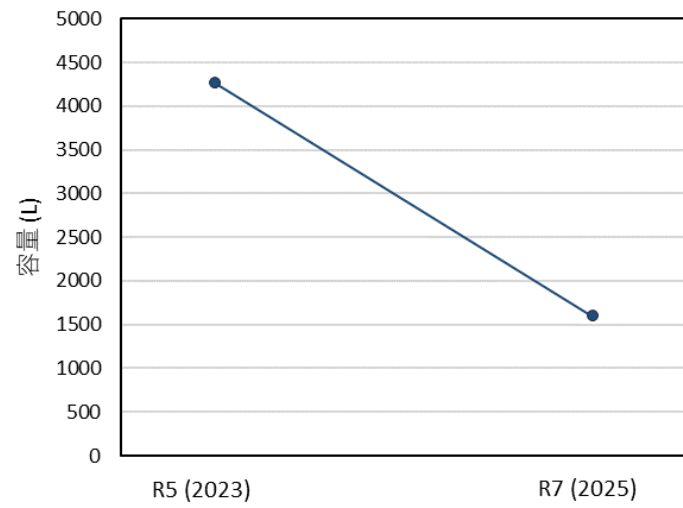
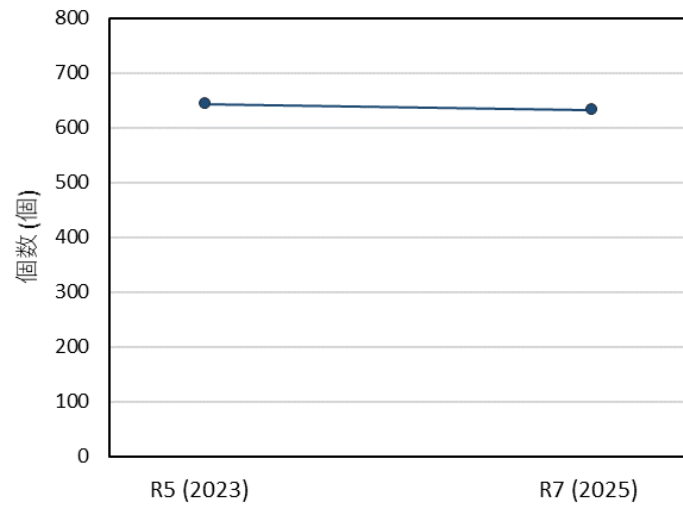


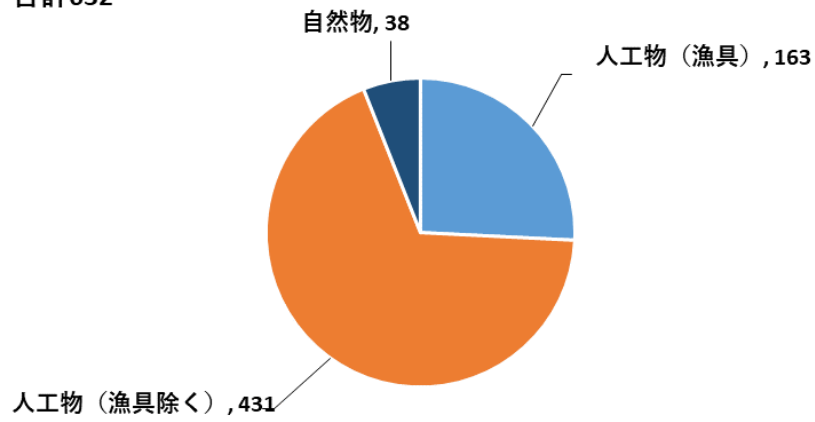
図4 集計結果比較（令和5年、令和7年）

表4 人工物(漁具)、人工物(漁具除く)及び自然物に分けた集計結果

分類	個数 (個)		容量 (L)		重量 (kg)	
	R5 (2023)	R7 (2025)	R5 (2023)	R7 (2025)	R5 (2023)	R7 (2025)
人工物(漁具)	204	163	36	3	10.3	0.4
人工物(漁具除く)	359	431	630	237	187	108.7
自然物	80	38	3590	1357	860	171
合計	643	632	4260	1597	1060	280

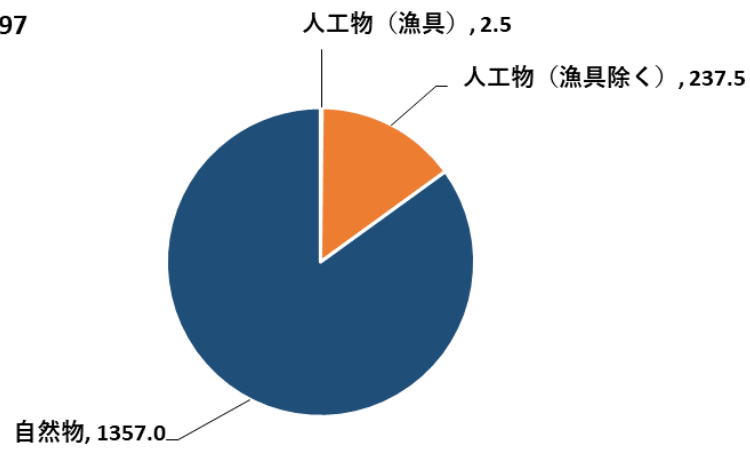
個数(個)

合計632



容量(L)

合計1597



重量(kg)

合計280

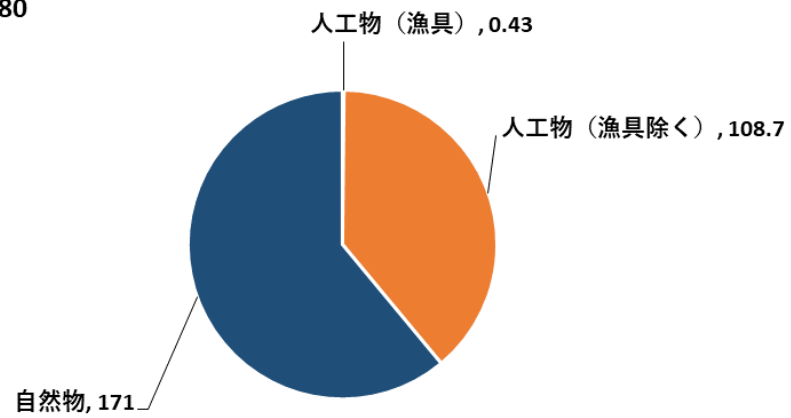


図5 人工物(漁具)、人工物(漁具除く)及び自然物に分けた集計結果

表5 ペットボトル等の製造国別集計結果（稲童地区海岸）

大分類	ペットボトル（個）		ペットボトルのキャップ（個）		漁業用の浮子（個）	
	R5 (2023)	R7 (2025)	R5 (2023)	R7 (2025)	R5 (2023)	R7 (2025)
日本	1	0	1	5	0	0
中国・台湾	0	0	0	0	0	1
韓国	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
不明	0	3	1	4	0	0
合計	1	3	2	9	0	1

#### 4 まとめ

福岡県の海岸漂着ごみの実態把握及び発生抑制対策に資する情報収集を行うため、海岸漂着ごみ組成調査を稲童地区海岸（行橋市）で実施した。その結果、1597 L、280 kg の海岸漂着ごみを確認した。容量及び重量ともに最も大きな割合を占めたのは自然物であった。

添付1 風配図（行橋観測所）

添付2 漂着ごみデータシート

添付3 言語表記等調査のデータシート

添付4 回収前後の海岸の写真

添付5 回収物の写真